

2026 年秋号 vol. 190

編集発行：公益財団法人あすて

豊田市本町本竜 43

TEL (0565) 52-0362

HP⇒



— 笑顔あふれる明るい社会を築きます —

あすては 2026 年 12 月に
60 周年を迎えます。

あすてでしかできない

あすてならではの

社会貢献活動をしませんか？



↑ 近藤 保 実行委員長

設立 60 周年を記念して、あすて周辺を歩いて巡ろう、と爽やかな秋晴れの 10 月 11 日（日）にウォークラリーが実行委員会企画で開催されました。参加者は地域の方をはじめ、元利用者や元職員を含めた総勢約 100 名。コースは 3km と 6km が選択でき、チームでコマ図に従いチェックポイントを周ります。ゴールした後は、ボランティアさん手作りのカレーをいただき、懐かしい人達と木の記念品作りを楽しむ姿があらこちらで見られました。



↑ 出発！気を付けて、
いってらっしゃい！



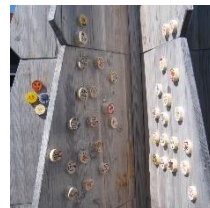
↑ コマ図を頼りに道を探しつつ
歩きます



↑ チェックポイントの課題
「60 年を協力して表しましょう」



↑ 昼食後は木工の記念品
づくり



↑ 自作ホルダーを間伐
材ツリーに各々貼付

ご参加
お待ちしております！

祝 設立 60 周年式典

※あすての日
申込はこちら→



2026. 12/11(金) 10:00~12:00

12/12(土) 14:00~16:00

★記念式典（対象：賛助企業）

★あすての日（対象：ボランティア登録
及び活動に興味のある方・申込は QR ↑）

チェロを楽しむ会演奏、館内ツアー、
活動展示、間伐材カラーラ試走、植樹

* 豊田理事長のお話し
* 来年度の登録とヒアリングについて
* 記念コンサート 出演：華豊の友





カンボジアの子ども達に自転車を

ASIACYCLE PROJECT



現地活動 8 月 4～9 日 メンテナンス・ものづくり授業・交流

経済的理由で通学に苦労しているカンボジアの小中学生のために、日本で使わなくなった自転車を集め、あすてボランティアが修理をし、カンボジア、プノンペン市街チュンカエプ校に贈ろうという「Asia Cycle Project」がスタートして一年半が経過しました。

8 月 4～9 日に、修理に関わったボランティアが、碧南の NPO オアシスと共に現地を訪れ、寄贈自転車のメンテナンスとものづくり授業を行い、現地の子ども達や教育機関と交流しました。また、10 月にはチュンカエプ小中学校長ら教育関係者 5 名が、NPO オアシスの招きで来日した研修では、同月 17 日(土)にあすてを訪れ、ものづくりを通じた教育事業を見学しました。

2025. 5 新事業としてスタート

使わなくなった自転車の寄付募集。

47 台の寄付車集まる。6 社 26 名で修理

12/19 修理済自転車 15 台を船便で送るため、コンテナに積み込む

2026. 2/17 チュンカエプ小中学校にて寄贈式

あすて理事長、事務局長が渡東出席

8/4～9 現地活動：寄贈自転車のメンテナンスと中学生対象にものづくり授業と交流。NPO オアシスのツアーにあすてボランティア 1 名と担当職員 1 名が参加

10/17 現地中学校長と教員 5 名が NPO オアシス（蒲郡）の招きにより来日し（10/14～18）、あすてもものづくり事業の見学後、報告会に参加

経緯



↑(左端・右端) あすてボランティアが現地中学生にものづくり授業を行う



あすてボランティアが、今年 2 月に寄贈した自転車 15 台のメンテナンスを行う

10/17(土)

カンボジア教育関係者 5 名来日 報告会 & あすて「ものづくり事業」視察

カンダールスタン市の教育局長、チュンカエプ小学校長・副校長、中学校長ら 5 名が NPO オアシスの招きで三河地区教育関係の視察（10/14～18）のため来日。17 日には、あすてにて「ものづくり事業」や「Asia Cycle Project」の見学をした後、現地活動報告会に出席しました。中学校長は「日本人のものづくりに対する熱い思いと社会貢献精神に感激した」と涙と共に感謝の言葉を述べられました。



↑自転車修理の現場 ↑この日開講した未来学校の様子見学 ↑報告会 8 月現地活動をしたボランティア ↑感謝の言葉を述べる現地中学校長



森のプレゼント（間伐材有効活用）

あすて×森のプレゼント×各種団体



【 2026 年 10 月までの寄付状況 】

× 国際ソロプチミスト豊田

児童養護施設のオモチャ収納棚を受注
ヒノキ集積材、H1765×W1700×D60



国際ソロプチミスト豊田の寄付金を元手として児童養護施設から特注のオモチャ収納棚を依頼され、森のプレゼントが設計から製材、製作を担い、無事10月5日に搬入しました。

新メンバー・水野氏は「今回初めてベテランの方について家具作りをお手伝いした。大きな棚の水平を保つことや扉を内部にきちんと羽目込む作業が難しかったが大変勉強になった。」と述べていました。

× アイシン労働組合

●大人用ベンチ○子ども用ベンチ◆積木◇コロコロ積木

寄付先	内容/個数
JA あいち中央デイサービス安城北	●2
今和泉保育園（安城市）	○2
さくら保育園（刈谷市）	◆20
駒場こども園（豊田市）	○2
咲かそうひまわり、Piece for you （碧南市）	◇2●1

からくり（からくりを活かした活動）

デンソーひろせフェスタにて
ものづくりコーナーに出展（10/3出）



からくりは、(株)デンソー広瀬製作所（豊田市）と同労働組合の主催で開催された「デンソーひろせフェスタ」にさまざまな作品を出展して、来場した親子にからくりの面白さを体験してもらいました。



KANADE（音を奏でるからくり活動）

60 周年記念品ノベリティーを考案
& 150 個を手作業で製作中



木製部や贈呈袋の作成は他グループが協力

「あすてらしい記念ノベリティーを」とのこだわりから、メンバー3名が試行錯誤の末に卓上で揺れにより鳴る鈴を考案し、150 個を手作りしています。木製部品は森のプレゼントが、贈呈袋はメイウインクタス他が作成協力しました。



↑ 金属加工

↑ 間伐材を利用した
木製部品

↑ 使用済カレンダーを再利用した
贈呈用袋を作成中

観戦
大歓迎！

2026

60 歳以上によるシニアロボコン
電動モーター自作ロボット対戦！

AKIKAN CUP

2026 年 11 月 14 日(土)

10 時～13 時 金 KOB A

※詳細は、あすて HP にてご確認ください



募集

ユニークさ & ゆかいさを競う！

ゆかいぞう

カエルスイマー（写真）を改造してユニークに 10m 走！

2027 年 2 月 21 日(日)

10 時～12 時 あすて

※詳細チラシは、HP に近々掲載される予定





夏休み生き物探検隊

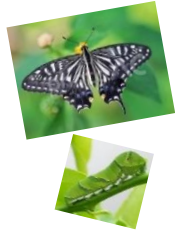
テーマ:昆虫にはなぜ食べ物の好みがある?

—自然から学ぶ—



ボランティア講師: 三高 雄希氏 (昆虫博士、名古屋大学農学部 助教)

あすてで見られる④キアゲハと⑥ナミアゲハ。「成虫の姿はよく似ているのに、幼虫の姿やエサとなる植物が全く異なっているのはなぜか!」この命題を糸口に昆虫博士の三高氏とあすて周辺を探検して、昆虫の様々な生態を観察。8/1(土)午前、暑い日でしたが10名が好奇心全開で臨みました。



三高先生のお話のポイント

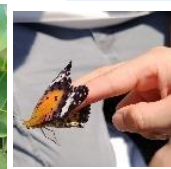
- ❖ 虫は、“匂い”と“味”という化学物質を通してコミュニケーションをとる。
- ❖ 似たチョウでもエサとなる植物が違うのは、長い間に争いを避け共存するために別の植物を食べるように変化したから。また、違う植物を食べるうちにその生態自体にも変化が現れた。
- ❖ アゲハのメスは前足の先に細い針状のトゲを持ち、葉をひっかいて味見をし、それがエサになる植物と確認できたら葉の裏に卵を産み付ける。
- ❖ 近年、世界レベルで虫が減少傾向。要因は温暖化、農薬、森林破壊、虫を排斥しようという人間の都合等がある。75%の農作物の受粉が昆虫に支えられているように、人にとって虫は必要な存在。
- ❖ 自然は多様性があることで均衡を保っている。持続可能な地球のためにも虫に関心を。



観察できた昆虫



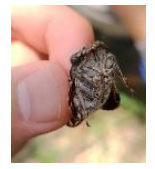
ツマグロヒヨウモン♂
(温暖化で分布北上)



♀



ハグロトンボ
(水辺の近く生息)



ニイニゼミ



クヌギにつく虫コブ



ナミアゲハ蛹



シオカラトンボ♀



キチョウ

アブラゼミ、シオカラトンボ♀、ウスバキトンボ、ギンヤンマ、タマムシ(死骸)、モンシロチョウ、ショウリヨウバッタ

枯竹にたましいを



微生物がたくさん住んでいる豊竹 SOIL に生ごみを入れ、条件が整えば分解で60°C近い熱を発する。これを繰り返して良い肥料になる。

ボランティアグループ「枯竹にたましいを」は、枯竹の有効活用法の可能性の一つである「豊竹 SOIL」について、今年度はコンポスト基材としての活用を目指しました。まずは、あすて職員で7～9月にかけて豊竹 SOIL でコンポストづくりに取り組みました。「生ゴミの臭いがほとんどしない!」という発見などの一方で、「家庭でどこまでコンポスト化できるのかわからない」など、疑問も出ました。今後は、あすてボランティア全体で取り組めるように改善し仕組みを整えていく予定です。ぜひご協力ください。